

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10579003				
授業名	文学作品と文学表現 C	形態	講義	単位	2
担当教員	内田 愛				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	月曜3限		
授業目的	<p>イングランドを中心とした文学史を振り返りながら、主要な詩人や小説家を取り上げて、「伝統」とは何であるのかを考えていきたい。グローバル化が著しい昨今において、個性尊重は時に他を顧みないエゴイズムに変貌しているように思える。「伝統」を考えることは、個性との対立ではなく、自らを高度に洗練させていくための一つの方法なのではないだろうか。</p> <p>歴史背景を踏まえながら、時代を超えて残ってきた詩人や小説家の作品を見ていくことで、どのように彼らが各人の個性と伝統とを見事に融合させてきたかを探りながら、今後いかにして自分たちの個性を発展させていくかを考える力を身につける。</p>				
授業内容	イングランドの文学史を、大きく5つの時代に分ける。各時代を代表する詩人や小説家を紹介、彼らの作品を見ていながら、文学史における彼らの功績を考えていく。				
到達目標	<p>「伝統」と個性に関して、各自なりの意見を持てるようになることを目指す。</p> <p>また、少しでも文学作品に興味を抱き、原文では無理でも、翻訳本で実際に作品を読んでもらいたい。</p>				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式となる。各時代（あるいは複数の時代をまとめて）の終わり、および最終日には、確認のためのテストを行う。授業内ではしっかりメモを取るなど、積極的な姿勢を求める。 また、作品に興味を持ってもらえるよう、教室内の機器が適当であれば、映画も一部上映する予定。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	プリント使用。				
評価方法	3回の確認テストおよび最終日の小テストの成績により総合的に判断する。				
評価基準	第一回確認テスト30点、第二回確認テスト30点、第三回確認テスト30点、最終日小テスト10点、計100点				
試験・レポート等のフィードバック	<p>確認テストは3回、最終日に小テストが行われる。これらの返却はしないが、点数の確認には応じます。</p> <p>また、次の回の授業で、あるいは回収後に、解説をします。その部分は本クラスのテーマである「伝統」と「個人の才能」を考えていくうえでも重要な内容を含んでいるので、自分の理解が正しかったかも含め、しっかりと確認して下さい。</p> <p>授業内で扱われる作品や作家は知っていて損はないものばかりなので、ぜひ作品を一読してみることをお勧めします。</p>				
注意事項及び履修条件	事前・事後学習を欠かさないこと。				

S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満

第1回	
事前学習	第一回目では授業スケジュール、履修の際の注意点、テストに関してなど、単位取得のための重要事項の説明をするので、履修希望者は必ず参加すること。
授業内容	授業を履修する際の注意点を中心に、授業の進め方、小テストに関する注意点など、オリエンテーションを行う。 また、エリオットのエッセイ「伝統と個人の才能」を紹介する予定。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。
参考文献	

第2回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	チョーサー、シェイクスピアの時代を中心に見ていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第3回	
-----	--

事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	チャーサーとシェイクスピアの時代、ミルトンとポウブの時代を中心にみていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第4回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	ミルトン、ポウブの時代を中心にみていく。また、時間に余裕があればシェイクスピアの作品を映画化したものを一部紹介する予定。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第5回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	第一回確認テスト（チャーサーとシェイクスピの時代、ミルトン、ポウブの時代）の実施。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第6回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	第一回確認テストの解説を行う。 ワーズワスの時代を見ていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第7回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	ワーズワスの時代を中心にみていく。 ロマン派の詩人の作品、およびジェイン・オースティン作品の紹介もしていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第8回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	テニソン、ブロンテ姉妹の時代を見ていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第9回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	テニソン、ブロンテ姉妹の時代を中心にみていく。シャーロット・ブロンテの代表作『ジェイン・エア』を映画化したものを観賞する予定。（一部省略）
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第10回	
事前学習	ワーズワスの時代、テニソンの時代のプリントをしっかりと見直しておく。
授業内容	第二回確認テスト（ワーズワスの時代、テニソン、ブロンテ姉妹の時代）の実施。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

参考文献	
第11回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	第二回確認テストの解説。 ヴィクトリア朝時代末からモダニズムの時代について見ていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第12回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	ヴィクトリア朝時代末からモダニズムの時代について見ていく。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第13回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	ヴィクトリア朝時代の末は、文化が最大限に花開いた時であると同時に、世紀末としての廃類ムードの影も見え隠れした時でもあった。その時代の雰囲気味わえる作品の映画化したものを取り上げ、一部を紹介していく。 履修生の興味に応じて、オスカー・ワイルド作品か、コナン・ドイルが生み出した、現代でも多くのファンを持つシャーロック・ホームズ作品のいずれかを観賞する予定。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第14回	
事前学習	ヴィクトリア時代からモダニズム時代に関してのプリントをしっかりと見直しておく。
授業内容	第三回確認テスト（ヴィクトリア時代末からモダニズム時代）の実施。
事後学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
参考文献	

第15回	
事前学習	配られたプリントをしっかりと読んでおくこと。興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。
授業内容	第三回確認テストの解説。 これまでの作品を振り返って、時代を超えて残ってきた詩人や小説家たちが「伝統」と個性のバランスをいかに高度に組み合わせてきたか、また、これまでに見てきた時代の流れを鑑みた上での、伝統と個性に関する小テストを実施。 小テスト回収後に、解説を行う。
事後学習	興味を持った作品については、翻訳でも構わないので読んでみる。 時代を超えて残ってきたものには、それだけの価値があるのだと思う。実際に作品を味わうことで、その価値を自らも感じ取ってもらえればと思う。それはこれからの人生において、何かしらの心の糧になるはずだ。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p><DP-1> 【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】 社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p><DP1-(1)> 日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p><DP1-(2)> 情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(3)> 問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p><DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	--

